

事業所名		保育所等訪問支援事業所 Mikke			公表日	令和8年 3月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2		視覚支援用品など、一人一人に応じた教材を準備できるように整えている。また、必要に応じてアップデートを行っている。	日々持ち歩くことが難しい物が多いため、持ち歩きができるスマホアプリなども活用していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		適切である。しかし、利用者ニーズの高まりがあるため、人員増加を予定している。	利用希望が増えており、現場業務と事務業務の圧迫が予測されるため、今後はスタッフの増員が必要である。現在求人募集中。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		業務改善に多く取り組み、オンラインなども取り入れ、効率的に業務を行う事ができるようになってきている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		受け取り次第できるだけ早く共有を行い、日々のやり取りを中心に、できる限りタイムリーに取り組みるように心掛けている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		対面での話し合いが難しいときには、電話やオンラインを活用している。職員会や普段の会話の中で気になることは改善していくようにしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	外部委託していないが、自己評価後には職員会議にて検討し活かしている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内研修を長期休みに行い、来年度は外部研修への参加も増加する予定。	新しい情報を取り入れることで、お子さんへの支援の向上、施設全体としての知識、サービスの向上につなげていきたい。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		訪問支援だけでなく、相談を受けた内容についてもできるだけ取り入れるようにしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		事務職員を含めた全職員が参加して支援会、検討会、ミーティングを実施してきた。今後も実施予定。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問時に確認を行いながら、半期に1度確認を行うようにしている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		実行されている。しかし、訪問支援の内容や優先順位が変更されることが成長の段階であるため、注意が必要である。	訪問内容計画の内容よりタイムリーに取り組むべきことなどもあるので、計画の変更などの可能性も含めて訪問を行っていく。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		実行でき、訪問先ともその場でタイムリーに共有している。共有が難しい場合には、電話連絡などの方法も活用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインを踏まえ、保護者の方と競技した上で支援内容を確認している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		1人1人の目標に沿った計画を立案している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		スケジュールを共通理解するため、アプリも活用しながらミーティングを行っている。当日ミーティングができないときには、前日行うようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		記録を書きながら、支援内容の共有、振り返り、次回の目標等確認している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		事前に担当者会などで、訪問先の理念やクラス目標など確認して訪問させていただいている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		記録を書きながら、支援内容の共有、振り返り、次回の目標等確認している。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		随時保護者の方とコミュニケーションを図り、定期的に面談もしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		状況をよく理解した者が参加できるようにしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じて各関係機関との連携ができるように整え、状況がわからないときには連絡を取るようになっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		進学、進級、転校のときには、引き継ぎ会に出席するようになっている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		児童発達支援管理責任者が、高知市児童発達連絡会や高知県サービス管理責任者研修の講師を務めたり、必要に応じてSSW、他法人の訪問支援事業所、相談支援事業所に助言をいただくなどの連携をしている。訪問時間と重なることが多く、外部研修への参加が少なかったため、スケジュール調整を行って来年度は参加していきたい。	オンライン研修などを活用することで、できるだけ時間を確保しながら無理なく参加できる体制を整えていきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	2		高知市自立支援協議会の児童分野として、高知市児童発達支援管理責任者連絡会運営側として参加。企画等検討会にも参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		訪問報告を行うときに情報共有を行い、育児相談のときにも行っている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		ペアレントトレーニングについては、プライバシーの配慮が必要な方もいるので行わない方針である。オーバーワークとならないように機会を見て研修を行ってきたい。	マンパワーへの課題については、求人募集を行っている。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		新規契約時に説明、今後は新規契約、契約更新時に説明を行っていく予定。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		初回訪問前に書面を持って、事業の趣旨や訪問の目的や訪問の際気をつけることがないかなど確認している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		訪問報告、面談などに行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		保護者の方のみに確認していただき、サインをいただくようになっている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		タイムリーにできるように心がけて、電話が難しいご家庭にはLINEで行うようになっている。希望により家庭訪問も行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		事業所の規模が小さく全員入ることが難しい。スタッフの人数も少ないため行うことができていない。	スタッフを雇用して、オーバーワークとならないように機会を見て行ってきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		できる限り対応している。対応が難しいときには、いつ話し合うことができるのかお伝えさせていただいている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		主にHP、SNSを活用して行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		契約時に細かく確認していただき、取り扱いに注意している。	
訪問先	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		本人のわかる伝達方法を使っている。(PECS、具体物、イラスト、写真、コミック会話など)	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		状況を見て訪問時に話し合うことが難しいときには、アポを取って電話するなど、常に先生方と一緒に悩み考えるように心がけている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問先の状況により、すぐにできないときには調整して電話で行わせていただく場合もあるが、毎回行うことができています。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		毎回お電話、SNSでご家庭、関係機関に行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		初回訪問前に確認するようにしている。また、必要に応じて個人情報の同意書を提示して説明を行っている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		専門的な言葉を減らして、アセスメントによる具体的な支援方法をお伝えすることでタイムリーに取り組めることを念頭に置きながら説明させていただいている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		各マニュアルは策定して事業所内で閲覧できるようになっている。訪問先での訓練は難しいため、想定での訓練を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		車両点検なども含めて行うようにしている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		今のところは事案がないが、いつでもできる準備を整えている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		定期的を実施し、外部研修にも参加している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		支援で解決できる方法を最優先に考え、現在行っているお子さんはいないが、必要に応じて手順を踏んで実施する準備はできている。	